

多くの作家、書店人、書評家のみなさんが、いろんなメディアで本書のことを発信してくださっています。



早くも話題！著者インタビュー、続々！掲載はこれからです。

✓読売新聞 ✓毎日新聞 ✓産経新聞 ✓神戸新聞 ✓京都新聞 ✓共同通信

他、ラジオからも出演依頼をいただいています。著者のメディア出演は増えていきそうです。

京都に女王と呼ばれた作家がいた ~山村美紗とふたりの男~

著者：**花房観音** 判型：四六判上製 228P / 本体価格：1,500円+税
ISBN:978-4-908443-52-7



第二次世界大戦で心身ともに病み、高度成長とともにベストセラー作家としての地位を積み上げ、1996年、日本で一番本が売れていた年に執筆中に亡くなった山村美紗の生涯は、日本の歩み、出版業界の歩みともリンクします。

美紗さんのパートナーは長らく西村京太郎さんだと思われていました。しかし、葬儀に喪主として突然現れた、夫。嫉妬心にかられながら、美紗さんを支え続けた二人の存在が、毎月発売される新刊の執筆を支えていました。

花房観音 について

兵庫県豊岡生まれ。2010年に『花祭り』で団鬼六賞大賞を受賞し作家デビュー。著書に『寂花の乗』『花祭り』『萌えいづる』『女坂』『楽園』『好色入道』『偽りの森』『花びらめくり』『うかれ女島』『どうしてあんな女に私が』『紫の女』など多数。

京都に住み、京都を描き続けたミステリーの女王・山村美紗の生涯を、京都に住み、京都の女を描き続ける花房観音が描きます。

FAX での
ご注文
(受注センター)

FAX : 06-6310-7057
(TEL : 06-6338-3078)

大阪府吹田市南金田 1-11-11-202
HP : www.jimotonohon.com/
●発行/西日本出版社

書店名(番線)	補充注文	京都に女王と呼ばれた作家がいた ~山村美紗とふたりの男~		注文数(注文品)	冊	ご担当
		■著者：花房観音 ■判型：四六判上製 228P ■本体価格：1,500円+税 ■ISBN 978-4-908443-52-7				様
						日付
大阪府吹田市南金田 1-11-11-202 TEL:06-6338-3078 FAX:06-6310-7057						■発売/西日本出版社